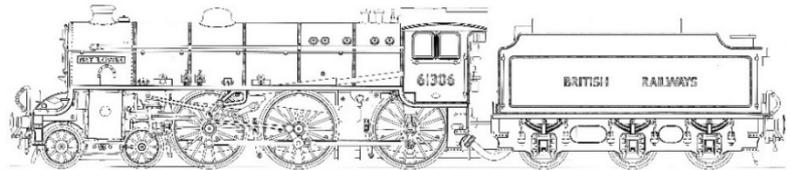


どうも？次期新モデルを待っているようですね？(構想図は、わざと解像度を落としています)

アキュラフトブランドのコラボモデルへの反応が今一步の様ですが、SP P8 は、もう設計もアスターが全て見直していますから、なんちゃってアスター製品だと思っただけなのですが、やはり弊社ブランドの完全な新製品への御期待が大きいようですね。確かに今迄の3機種は、リハーサル的なモデルで、アキュラフトと、アスターのお互いが、能力査定をし合う様なモデルでした。しかしこの冬から来年の2機種は、超本格的な英国の！しかも A3,A4 に勝るとも劣らな合い LNER の超有名機です。そしてもう意匠も出していました、来年出るドイツ型の小型機 BR80 は、まぎれもなくアスターの血統のモデルになります。只 DB BR80 は安いので、アキュブランドにする予定です。10月12日のGIMRAに、第一弾として発表するのはBR(英国鉄)のB1トンプソンクラス、名前は米国東海岸のお客様には痺れるMAYFLOWER(メイフラワー)になります。が？ちょっと微妙な部品集積状況です。と、言うのも！試作部品は、日本の新規外注にとって、今迄リハーサルでサンプル(量産部品や製品見本)が有ったのですが、今からは本番！図面のみ！ハードルを上げて、サンプル無しで、精度と技術力と価格を求めています。普及価格帯とは言え、その位のモデルになりますので御期待下さい。何故？立て続けに2機種のBREXITで揉めている国の機種を出すんだ？という懸念を我々も十分共有していますので、一発目の比較的普及価格帯のB1は、市場動向の手探りモデルと言う感じで、生産台数を絞ります。しかし、試作図面枚数。記載された内容を鑑みると間違いなく来年後半になる、次の第2段！これは、もう「頂点」にふさわしい仕様を有していますので、正直『お高い！』と思います。が、その価格に相応しいThis is Asterhobby made in Japanと言う高級機になります。そして、ブリクジットで揉めている国の機種ばかりを取って選ぶのは、2機種共、写真を見て頂ければ、お解り頂けると思うのですが、狭いマーケットをターゲットにした。機種ではなく、世界中の万人に受る非常に『美しい機械』だからです。Asterブランドのエンジンは、日本国有鉄型鉄道模型ファンを怒らせるようなモノ云いですが、一部の、趣味や限定エリアだけのマニアに受けるだけの機種ではなく、世界中、万人に御納得頂ける容姿と機能を持った機種を選んで参ります。その様なモデルの、今回は試作部品の一端を御紹介しましょう。本新型モデルの御予約受付開始は10月中旬からを、納期は感謝祭から年末に掛けてを予定しております。御期待下さい。



真鍮製ですが、正確にCNC加工された、表面が均一に均されているロッド。今までのロストワックス(鋳物)製ではありません

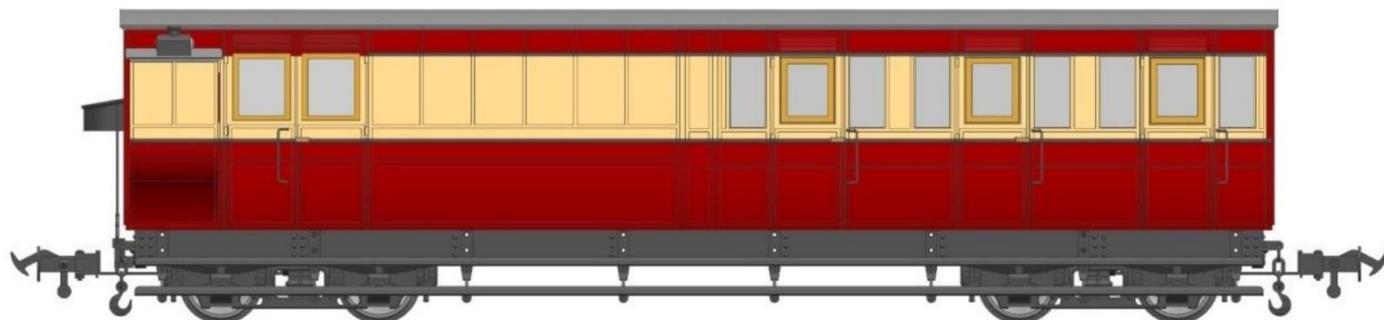
ドルコックの廉価版ですが

何とか UK £ 安になる前に売り切ったようで良かったのですが、ドルコックの初期ロット生産分は完売しています。そこで出すことにした、サドルタンクのサブリナ、サイドタンクのタルガは、我々は円高の影響もあって、なんと！12万円と言うお安さ！**9月末までにお支払いを済ませば、税金と諸費用込みでも**14万円程度で済みますが母国の英国では、ブリクジットで揉めているせいで、5%程、当初価格より値上げで提供する事になるようで、(実は日本で買うより2万くらい高くなります)そこで！ドルコックや、これにピッタリの、同じマン島で使われている客車を来年早々、2万程度で(プラ製でしょうね?) 出すそうですが、御希望の方は御予約下さい。この廉価版ナローシリーズは、来年も続々とリリースされる予定です。その都度御紹介しますが、基本、超限定生産なので、御購入に際しては、アキュクラフトのホームページに掲載されているか?を必ず御確認下さい。

<https://www.accucraftstore.com/>



サブリナは、写真のブルー以外にグリーン、マルーンそしてブラックの外装色が選べます
タルガは写真のレッド以外に、マルーンとブラックが選べます



これがマン島で活躍する4軸客車だそうです。

今年のコラボ新製品の予定でしたが！

開発中のコラボモデルが、Adams のお陰で来年ダイヤモンドヘッドショー以降に20年モデルに順延します。設計者は大変なんです。サザン鉄道のP8です。<https://www.accucraftstore.com/g1-sp-p-8>

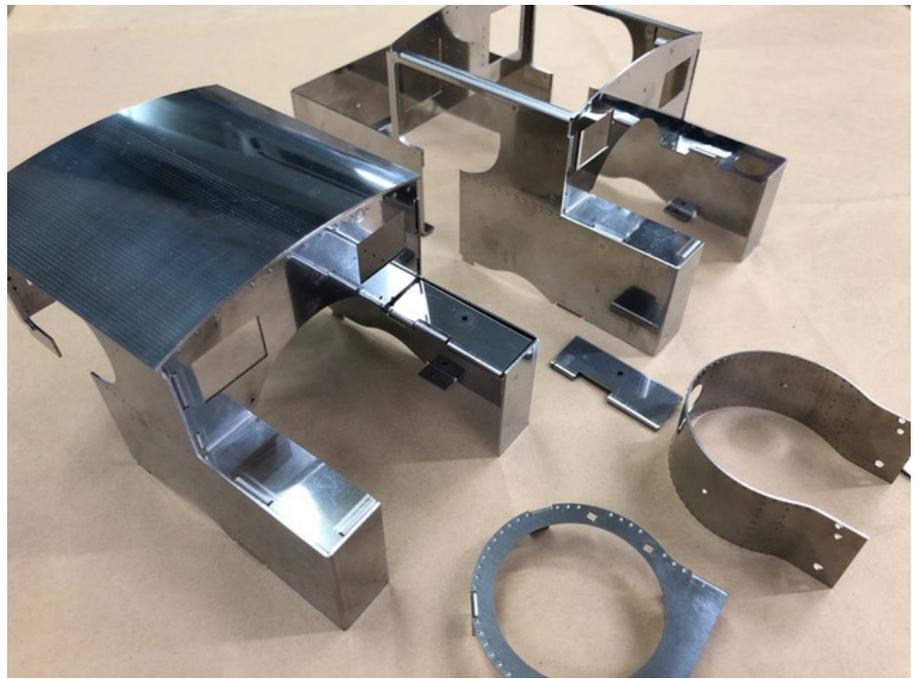
一次試作モデルの写真を公開します。本モデルは、当に Accuraft-Aster モデルになります。

- 1) ボイラーが全く別物になります(カナダのディックアボット氏=カナディアンハドソンの設計者)によるセミロコ式になります。
 - 2) シャーシー(主台枠)が変わりますフルイコライザー式のリジットになります(コイルスプリングは、オミット/廃止します)
 - 3) 板金はエッチング板を含め、全て日本製になります。構成は基本スポット溶接でハンダ(真鍮板部品)は極力減らします
 - 4) ポンプ類は、軸動、テンダー内のハンドポンプもアスター式に準拠します
 - 5) テンダータンクは上下二分割、分解組み立てはネジになります
 - 6) 本物がリキッドバーニング(重油焚)式だったので、アルコール焚を用意します。ガス焚はセラミック式バーナーになります
 - 7) オイルタンク給油方式はロスコー式です。
 - 8) シリンダーもアスター式に変わります(ルーロンのピストンリングです)
 - 9) クロスポートが付きます(スライドバルブのワルシャートです)
 - 10) 価格は、ほぼ据え置く予定です。(上記 URL を参照下さい)
- 上記項目(2)以降(8)迄の基本設計は、日本で担当しています。



その様な訳でアダムスは！

10月12日 G1MRA に発売開始予定でしたが、試作品展示に変わります。納期もそれに伴い遅れます(価格は据え置き)本モデルは微妙な部分のディテールに追加変更が相次ぎました、しかし、それらの意匠変更点は、しっかり(しかし残念ながら日本の外注さんがそのリカバーに回りますので納期が遅れるんです)対応します。ビクトリア女王時代の汽車は、GN Sterling と言いアダムスと言い、外観が煩いし、価格相応の省略も解らぬ様せねばならず困りますです。ハイ。(写真はステンレス製=国産のアダムスキャブ及び煙室部の試作部品です。オイルタンク部の盲蓋=精密板金部品の設計に苦労しました)



消費税が上がるので！備えあれば憂いなし

間もなく消費税が上がります！で今月中に消耗品(特にオイルやバーナー芯、セラミックシート)の予備は確保しておきましょう。弊社は、アキュラフトが、弊社が使用しているネジナット O リング、バーナー芯やセラミックシート、パッキン剤まで使用し始めた結果、彼等の新製品スケジュールに合わせ、これら消耗品を買い増している関係で、純然たる手持ち在庫は、限られていますので、そのストック無くなり次第10%が加算されます。御注意下さい。ネジやナット類等の補修用消耗品も弊社は現在ストックをミニマムに押さえていますので、集中されると、思わぬ期間で無くなります。御注意下さい。

今！小型機用アクリルケース即納可能です！(3個限定)それと…

倉庫整理の結果！通常価格3万円の写真のサイズの新品アクリルケース。下は鏡面仕上げです。が3個ほど在庫しており、これを皆さまに在庫安い価格の半額

で御提供しましょう！写真の様に床面は鏡面！全く新品です。また、5MT 用のアキュから供給された飾りレール(アルミ製)これをキットに付けても弁調整治具には使えないと言う判断から、直線用 60cmレールを付けた結果、この飾りレールが余っています。これをお安くバラ売ります。レール



30cm1本1000円20セットで2万円(税送料別)です。しかも9月中なら8%の消費税で購入できます。多分この価格材料費よりも安いと思います。又写真ずばりの、黒いダミレール付き鏡面仕上げの試作型が1個余っています(多少キズあり)これで良ければ(税・送料込みで)1万円での御提供！但しこれは1個ですので早い者勝ちです。

